



## 行動制限はなかったものの・・・



ニュースでは「3年ぶりに行動制限のない夏休み」という言葉がよく使われていました。

ここ2年間、一部だけの点火となっていた8月16日の五山の送り火も、3年ぶりに全て点火され、祇園祭と同様に、京都にたくさんの観光客が訪れ、にぎやかなお盆となりました。



行動制限がないという表現からは「全く自由な様子」に受け止めるこ

ともできそうなので、気にはなっていたのですが、日常のマスクや消毒の感染対策については大きな変更はありません。この8月には1日の新規感染者数が過去最高の26万人を超えるなど、拡大のペースは一向に衰えていません。これまでより重症者数が少ないのが特徴かもしれませんが、だからと言って安心するわけにはいきませんし、大変しんどい思いをすることとなってしまいます。

夏休みを終えて、本日より二学期がスタートしました。行動制限がないとはいえ、やはり制限や自粛は引き続き意識した夏休みだったと思います。昨年度は東京オリンピック・パラリンピックという大きなイベントがありましたが、今年は日常のニュースの中では「酷暑・猛暑・局地的な大雨・土砂災害」など自然現象による内容がとても多かったように思います。比較的そういった災害が少ない京都でも、連日警報や避難勧告が出される地域があるなど、これから秋の台風シーズンに向けて不安な状態です。しかし、一学期と同じように、すべてを中止・延期するのではなく、工夫をしながら色々な行事に取り組んでいきたいと思っています。ただ、直前になって変更せざるを得ない状況にならないとは限りませんので、適切な対応をしていきたいと思っています、みなさんが意識をすることも忘れないで下さい。

## これからの小栗栖中学校を考える（リーダー研修会）



夏休みの最終日となった23日の午前中、生徒会本部役員と各学年の代表実行委員が集合し、リーダー研修会を行いました。「小栗栖中学校の課題は何だろう」をテーマにグループ討議を行い、小栗栖中学校のこれからについて語ってくれました。他学年の人たちと一緒にグループで討議を

することは、視野が広がりとても良い経験になったと思います。1日や2日で何か結果が表れるわけではないのですが、きっとリーダーとしての自覚が芽生えたと思います。秋には生徒会役員も代替わりが行われます。残り2年半となった小栗栖中学校の集大成と並行して、新しい学校の未来像がみんなで語れたら良いですね。

## 小栗栖池は元気です



猛暑の中、小栗栖池は元気に育っています。金魚やメダカは大きくなり、水草は大きく育ち生き生き

としています。たくさんのカエルやバッタなどの生き物も我が家のようにくつろいでくれています。また一度そっとのぞいて見て下さい。

### < 2学期当初の予定 >

8月24日(水)	始業式
8月29日(月)～	教育実習生受入れ
8月31日(水)	1組科学センター学習
9月3日(土)	山科川クリーンキャンペーン
9月20日(火)	3年生伝統文化(華道)体験
9月22日(木)	学校祭文化の部
9月26日(月)	進路保護者会
9月29日(木)	定期考査③ (～30日)